



植物の種子の
寿命は長くはない

時を超え、 情熱が咲かせた奇跡の花 オオガハス

作画 鈴木 真澄

彼はハスの実の生命を
よみがえらせるため
その研究に
生涯を費やし
熱い想いを抱いた男
である

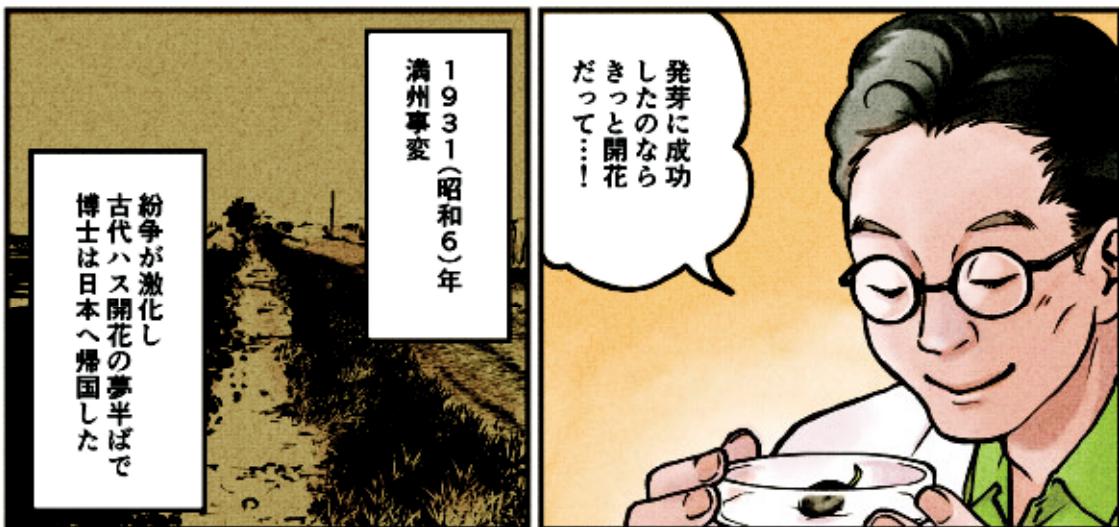
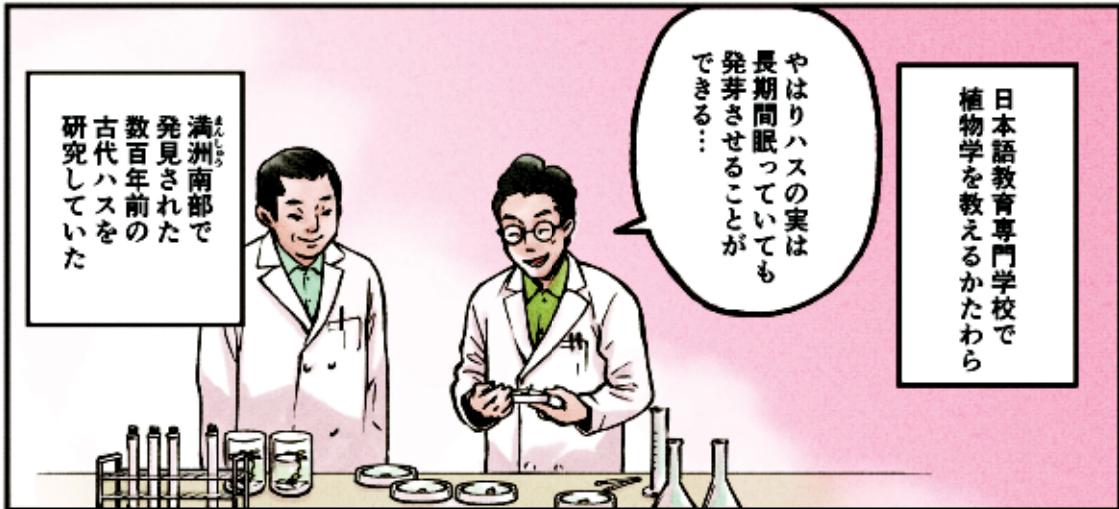


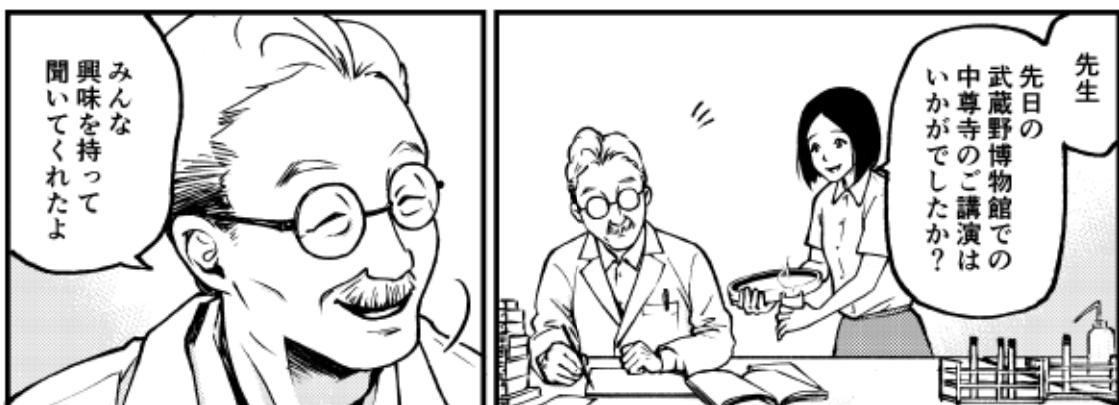
大賀一郎博士

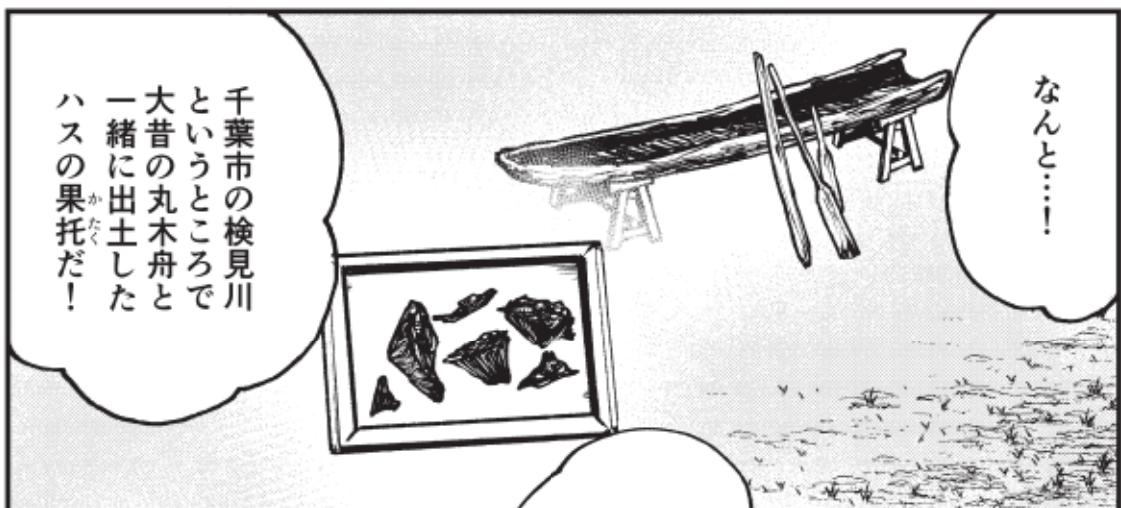
そしてここに
古代ハスに
魅入られた人物が
ひとり――



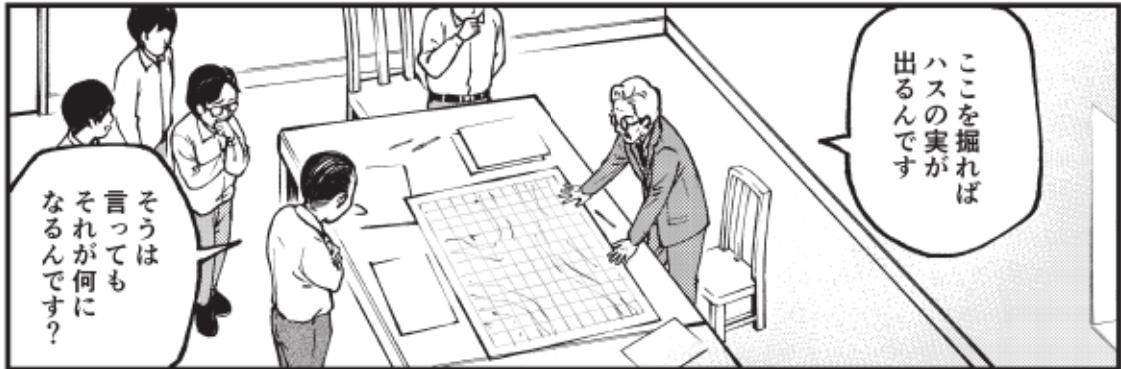
1917(大正6)年
中国大连

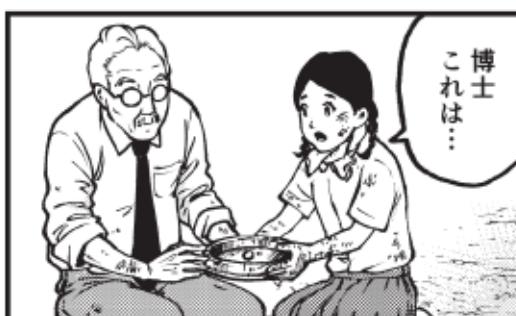
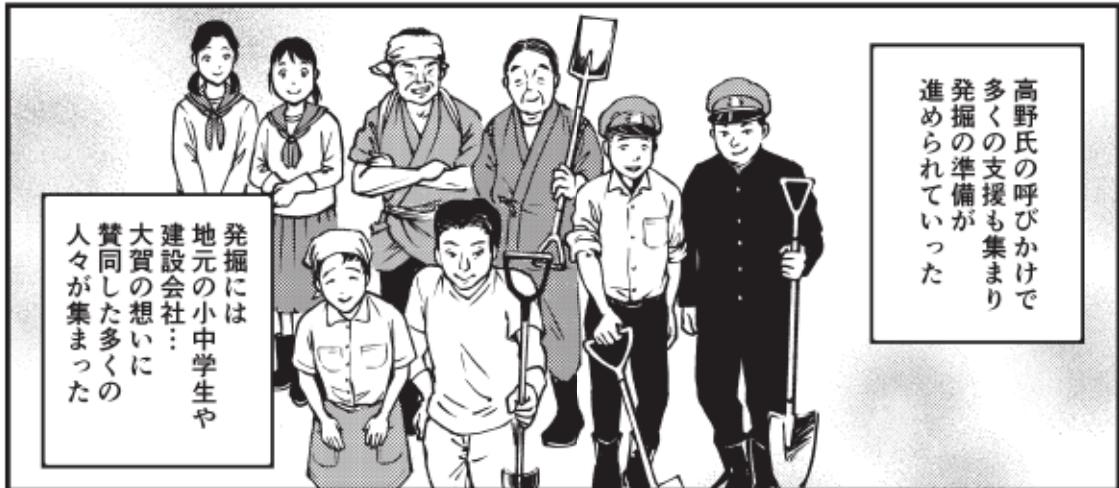




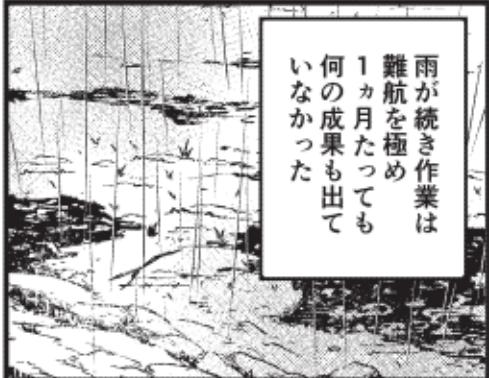
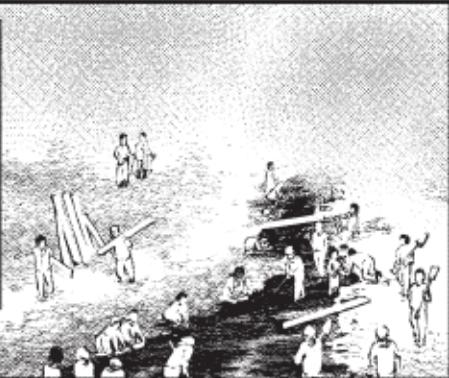








1951(昭和26)年
3月30日



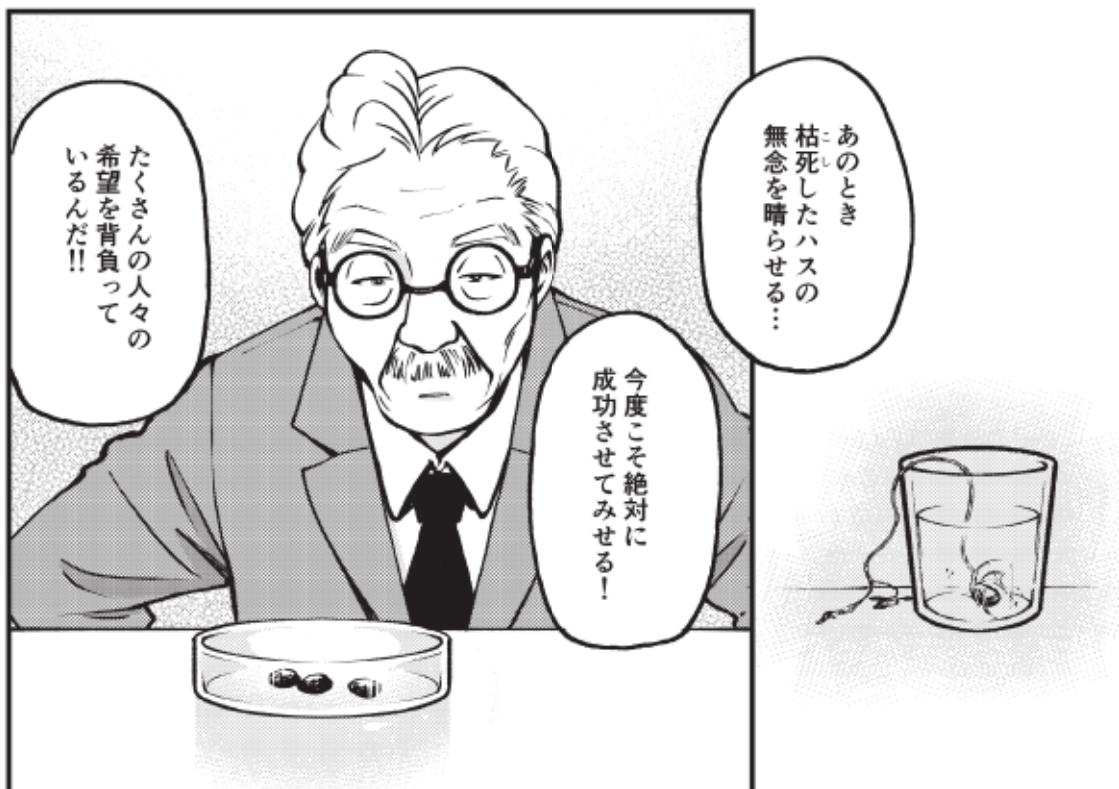
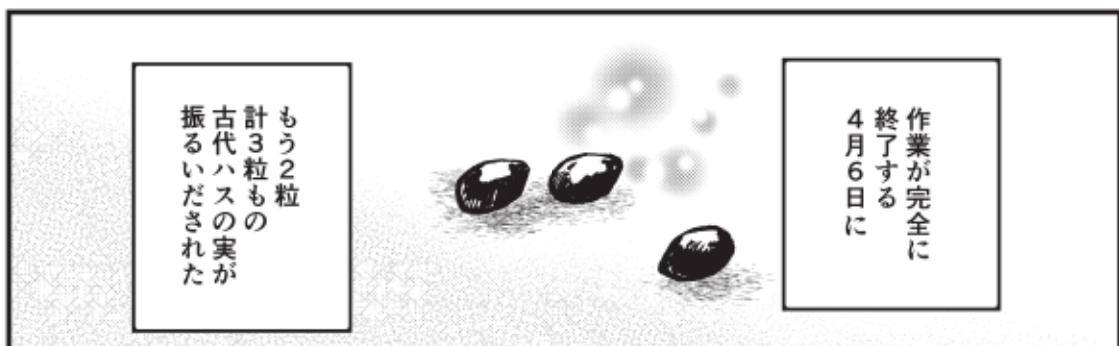
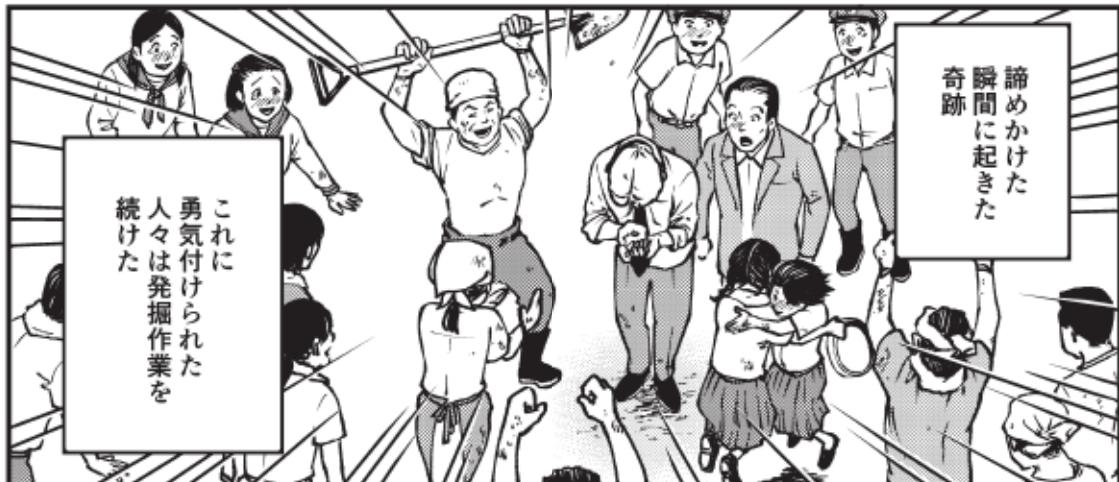
雨が続き作業は
難航を極め
1ヶ月たつても
何の成果も出で
いなかつた



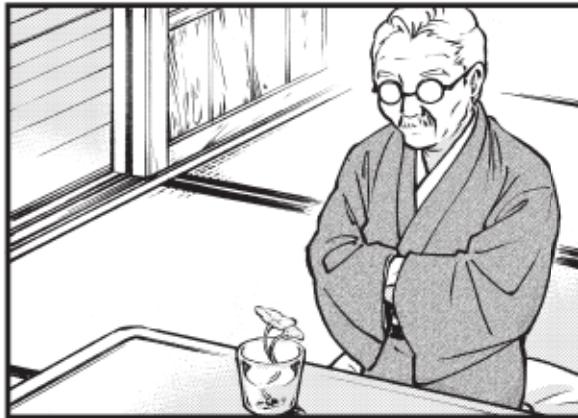
大賀博士を
はじめとする
ほとんどの人々が
諦めかけた
そのとき





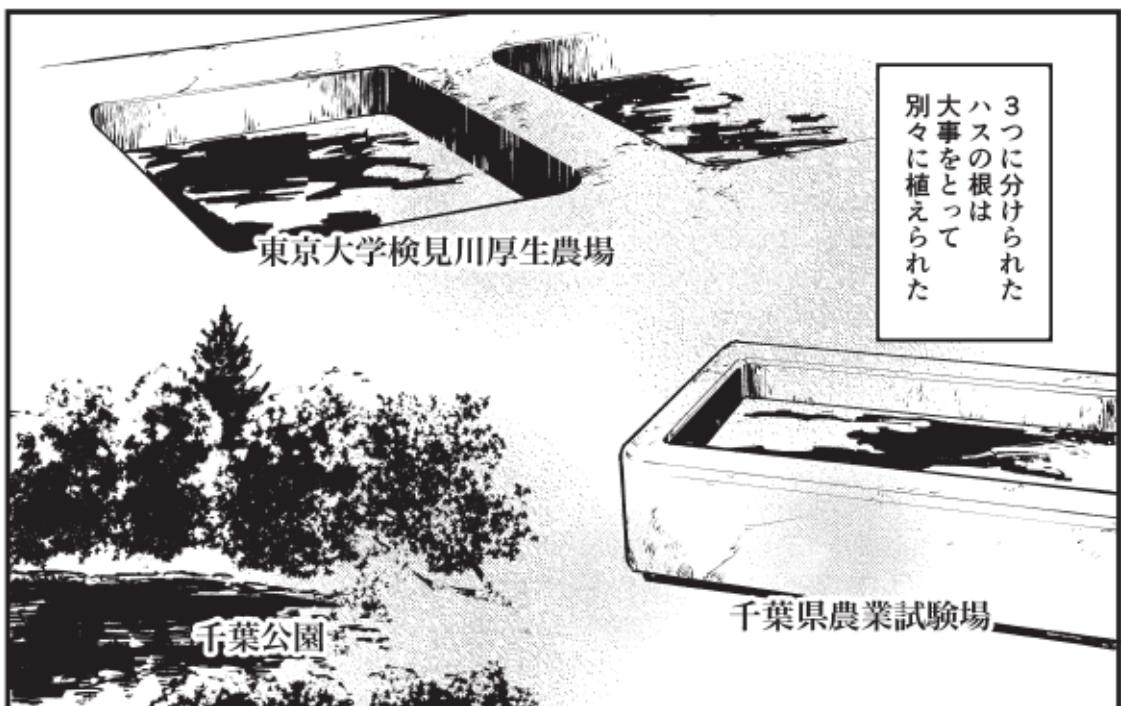
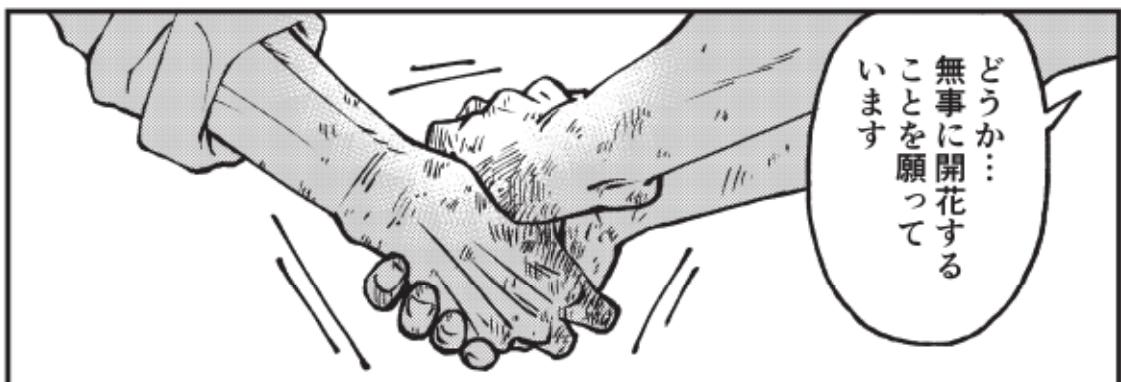


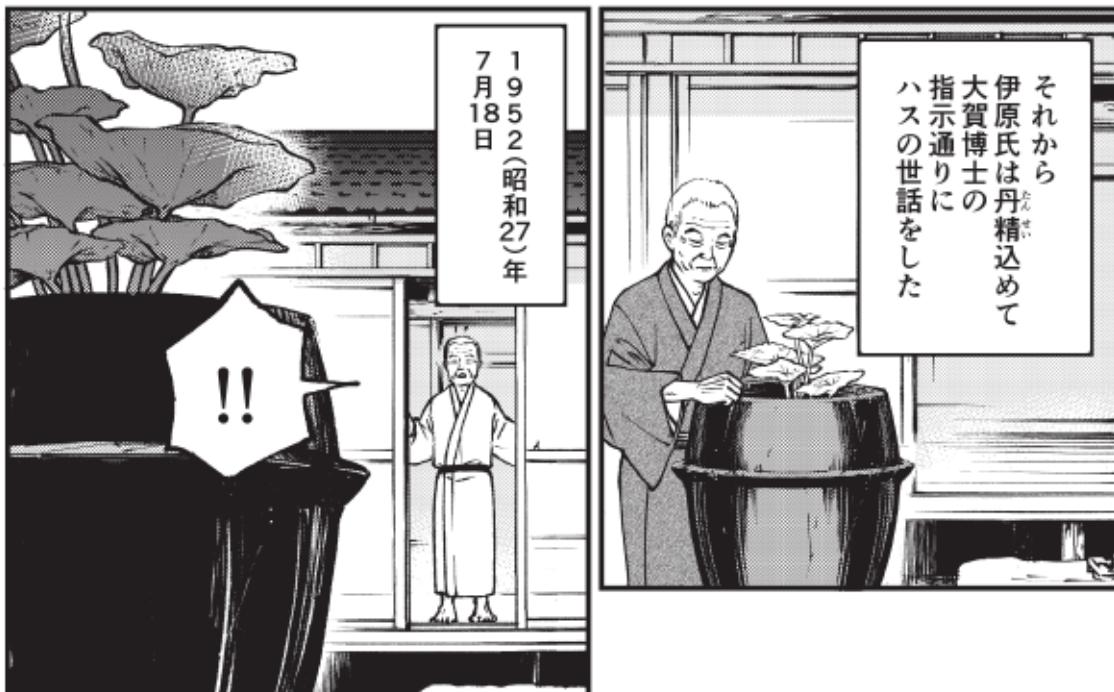




1951(昭和26)年
9月

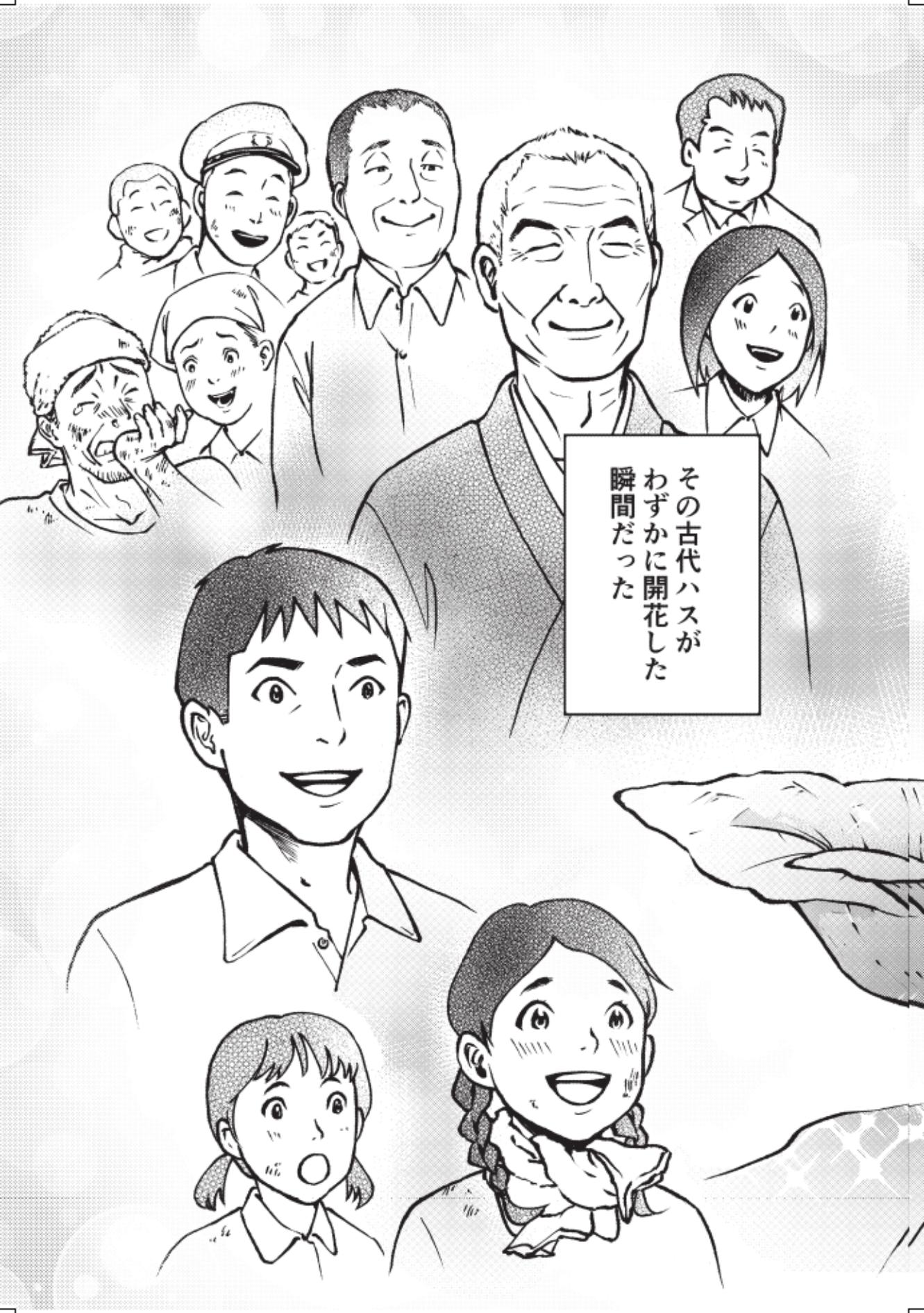




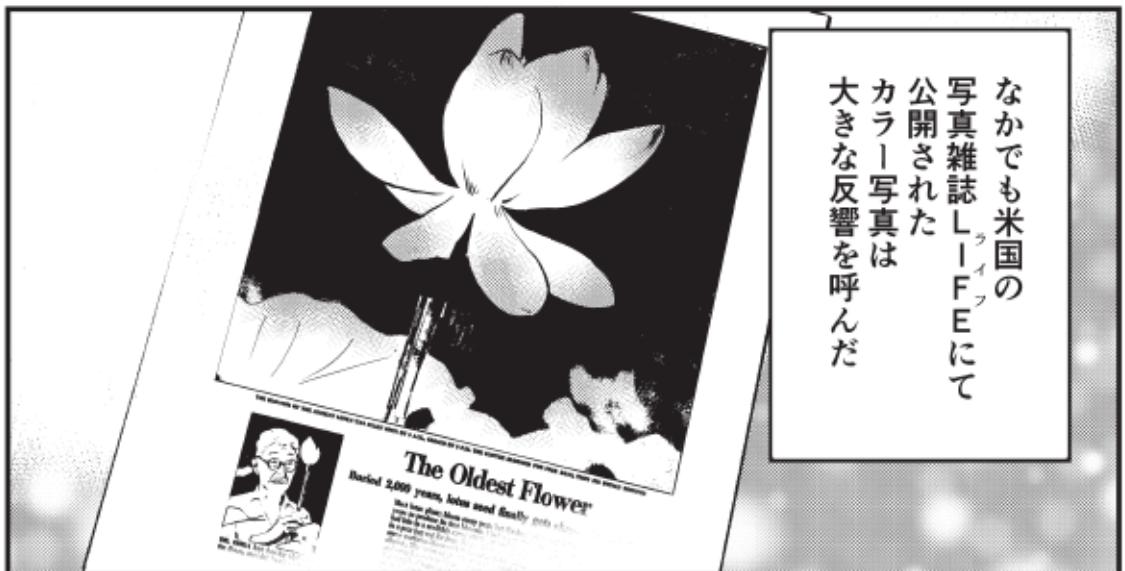




大賀博士の
悲願であり
多くの人々が想いを
託した



その古代ハスが
わずかに開花した
瞬間だった



発掘から14年後

今こうして
皆さんのが古代ハスを
見られるのも
皆さんの先輩たちの
おかげです

1粒出して
流した涙は
今でも忘れることが
できません

私は81歳に
なりましたが
ハスの実は
2000年もの
間生きて
花を咲かせました

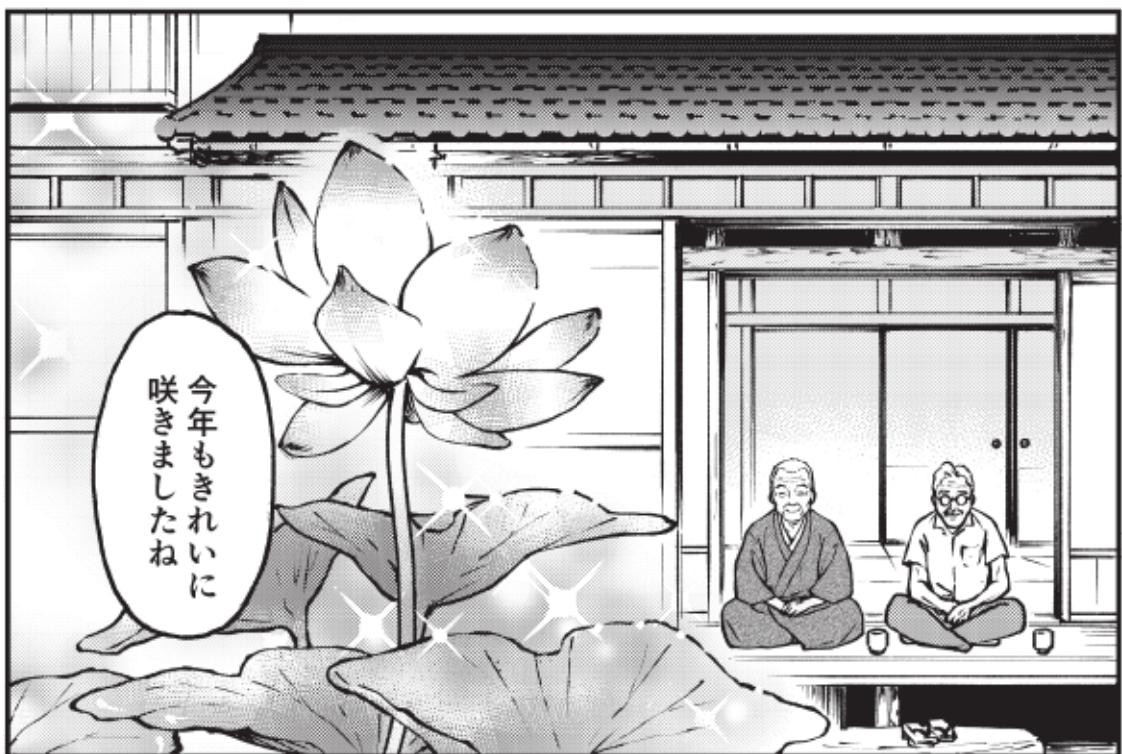
人間の寿命は
決まっています

私の研究は
終わっていませんが
最後の時まで
勉強していくと
思います

みなさんのような
若い方が
お金ばかりでなく

真理のため
人生のため
大きな希望を持つて
働いてほしいと
思います

今年もきれいに
咲きましたね





時を超えた奇跡の花

オオガハス

1951（昭和26）年3月3日、大賀一郎博士たちは検見川の東京大学農学部厚生農場内（現・東京大学検見川総合運動場）の泥炭層の発掘を開始します。発掘は雨にたたられ難航しますが、3月30日、ついに地下約6メートルの青い泥の層から蓮の実1粒を見つめました。

期間を延長した博士は4月6日にさらに2粒の実を発掘し、35日間の発掘を終了しました。同年5月6日、大賀博士宅（東京都府中市）で発芽処理が行われ、3個とも発芽に成功しましたが1個は発芽後もなく枯死しました。生長した実生苗2株は6月に千葉県農業試験場（現・県農林総合研究センター）へ移されました。1株は数日後に枯れ、3月30日出土の実生苗だけが順調に生育しました。



●約2,000年前の丸木舟
この丸木舟とともにハスの果実が発見されたことが契機となった。



●発掘調査を手伝う小学生
発掘には近隣の小中学生などが交代であった。



●深さ6mの泥炭層発掘
降り続いた雨や湧き水で発掘は難航した。

翌1952（昭和27）年4月7日に生長した蓮根を掘り上げ、東京大学検見川厚生農場、千葉公園・弁天池の一角（現・菖蒲園）、県農業試験場へそれぞれ植え付けられました。

当時、検見川農場では牛馬が飼育されており、その食害を避けるため、東京大学の株は地元の農業委員である伊原茂に栽培が委託されました。この株は同年7月1日に最初の蕾をつけ、7月18日に開花しました。

1954（昭和29）年3月31日付で千葉県の天然記念物「検見川の大賀蓮」として指定されました。オオガハスは、実と同じ地層から出土した丸木舟の放射性炭素年代測定の結果に基づき、約2000年前のものと推定されました。



●植え替えの講習会

専門家を招き、系統保存の担い手の育成を図っている。現在は東京大学検見川総合運動場になっている。



●オオガハスの実出土地点



●大賀ハスまつり

毎年6月中旬に開催。大勢の見学者がオオガハスの大輪を楽しむ。



●ボランティアの解説を聞く子供たち

オオガハスの魅力を伝えるため、ボランティアによる解説が行われている。

1粒のハスの実が3つの蓮根となり、その後、国内外約200箇所に友好と平和の使者として分根され、親しみ愛されています。
1993(平成5)年4月29日、千葉市が政令指定都市になつた際には「市の花」に制定され、古代のロマンを秘めた花蓮として、本市の象徴になっています。
大ぶりで淡いピンク色のオオガハスを守るため、千葉市では、別の種の花粉と交配しないよう果托を刈り取り、蓮根による栄養繁殖を厳正に行う「系統保存」を行っています。
6月中旬から7月中旬のオオガハスの見ごろに合わせ、千葉公園のハス池や旧東京大学緑地植物実験所の蓮園ではいろいろなイベントが催され、年々にぎわいを見せてています。